

清水 秀幸

7 実例長野市の検証(続)
⑨長野市の農業の全体像

（SC）進出を予定している、との第一報が報じられた。進出を予定する計画地の面積は、14万3千m²（4万3257坪）で、三大都市圏以外への進出規模としては、国内最大級の大きさであり、現在松本市で計画されているイオンモール東松本の敷地（約6万2500m²、1万8906坪）の約2・3倍の規模である。

担当する株式会社長工（本社・三重県四日市市）によると、当該SCを須坂市の広域防災とし、さらに北信地域も含んだ北信地域を網羅する64万人商圏とし、さらに北信地域の既存商店の誘致はも

加えて、商圏規模に至っては、一部上越市フルスペック・ワンストップ型商業集積施設とは、最近の一般的事例でみると、須坂市

の既存商店の誘致はも

するとしている。

清水 秀幸氏（しみず・ひでゆき）1952年長野市生まれ、76年明治大学政経学部政治学科卒、同年守谷商

会入社、2006年6月取締役就任。各支店長、営業本部長を経て、退任。13年7月にさくら都市総合研究所を設立し、現在社長。

（SC）進出を予定している、との第一報が報じられた。進出を予定する計画地の面積は、14万3千m²（4万3257坪）で、三大都市圏以外への進出規模としては、国内最大級の大きさであり、現在松本市で計画されているイオンモール東松本の敷地（約6万2500m²、1万8906坪）の約2・3倍の規模である。

また、予定するSCの売り場面積は、約2万5千坪、ながの東急百貨店の売り場面積（約5105坪、シェルシェ含む）の約5倍の広さを誇る。

支援物資として供給、提供する等の拠点とすることを前提に、雇用機会の増進（公表された雇用者数は850人を予定）とともに地域振興の活躍拠点と位置付けている。

したがって、フルスペック・ワンストップ型の商業集積ゾーンを形成するとしている。

清水 秀幸氏（しみ

ず・ひでゆき）1952年長野市生まれ、76年明治大学政経学部政治学科卒、同年守谷商

会入社、2006年6月取締役就任。各支店長、営業本部長を経て、退任。13年7月にさくら都市総合研究所を設立し、現在社長。



寄稿

人口減少社会と 地方都市の活力再生

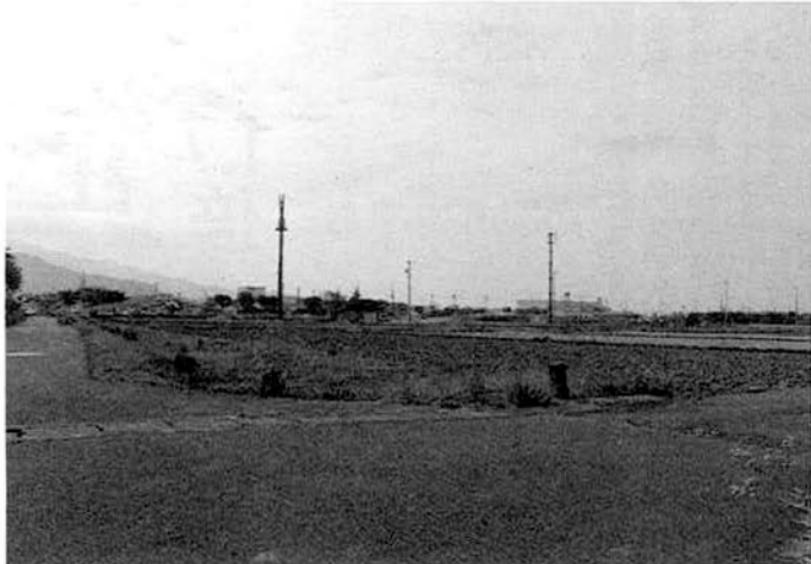
③4

金融、病院、介護施設も取り込むことで、須坂市の都市機能全体を当該地にシフトするほ

どのグランド・デザインが描かれている可能性も見てとれる。

12月1日の須坂市議会12月定例会では、三木正夫市長が施設の建設設計に賛成する意向を示している。

（続く）



北東側からみた大型ショッピングセンター建設予定地